

# 災害に強いまちづくり

# 住宅再



大沢地区 区画整理区域の計画図

## 防災無線改修工事

防災行政無線（固定系）施設改修工事の請負契約の締結に関する議案を全員賛成で可決しました。

この工事は、既設のアナログ屋外拡声子局全105カ所のうち19カ所をデジタル化するとともに、2カ所に新設します。子局の改修・新設に伴い、親局設備の改修工事も行います。

工事完了後に残るアナログ子局は、43カ所となりま

す。

工事の契約金額は8820万円で、株式会社日立国際電気東北支社（仙台市）と契約を締結しました。工期は9月17日から26年3月20日までです。

主な質疑は、次のとおりです。

**問** 契約金額が適正か判断するため、他社や同規模町村の事業費との比較を行ったか。

**倉本総務課主幹** 他社との比較はしていない。派遣職員を通じて、防災無線などに詳しい静岡市の技師に見積もりのチェックを依頼し、おおむね適正との回答を得ている。

**問** 子局の新設は、以前からの難聴地区を行うのか。

**倉本総務課主幹** そのとおりである。浦の浜地区と田名部地区に子局を新設する。田名部地区は、国道整備で盛り土をすることにより、難聴となる可能性があるため新設する。

沢田地区も以前から難聴地区だったが、スピーカー増設で対応できると考えている。今回の工事で増設する。

## 24年度決算審議 全て「認定」

平成24年度の決算を審議するため特別委員会を設置し、3日間にわたり集中的に審議しました。その結果、各会計とも原案のとおり認定すべきと決定し、19日の本会議で原案のとおり認定しました。

一般会計・特別会計の決算の総額は、歳入884億3179万円、歳出852億8778万円で、差し引き31億4401万円で、過去に類を見ない巨額の決算となりました。

## 報告 財政状況は「健全」

平成24年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」の報告がありました。

これらは、町の財政状況を判断するための指標となるものです。国が定める基準に基づき、監査委員が審査を行います。

国が定める基準を一つでも上回った場合「財政健全

化計画」を作成し、早期に健全化を図らなければなりません。

町の財政においては「健全化判断比率」について、全ての会計で基準を下回っています。

また「資金不足比率」については「資金不足はない」状態であることから、町の財政状況は健全と判断されました。

## 請願

- 被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める請願 請願者 岩手県岩手県医師会
- 会長 箱石 勝見
- 署名議員 山崎 泰昌
- (賛成12、反対0で採択)

## 議員提出議案

- 道州制導入に断固反対する意見書
- (賛成11、反対0で可決)
- 被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める意見書
- (賛成11、反対0で可決)